

通学路点検 箇所別資料①

(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	1	路線名	町道 北及・田代 13 号線
住所	笠松町長池 252 番地～302 番地 (給食センターの四つ辻)		
通学路の状況 危険の内容	事故多発場所。 車が徐行をしないので、通行に危険がある。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路・学童多しの看板の設置 ※ 停止線の設置、カーブミラーの増設を希望していたが、既にカーブミラーは 2 基ずつ設置済である。 ※ 停止線を引くためには、事故歴や地域の要望、交通量の調査が必要である。 		
事業主体	町、警察 (公安委員会)		
対策年度	H28 以降		
通学児童数 (人)	143 人 (長池東、北及第一東)		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA 近隣住民		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアが登下校時に要所となる十字路で見守り活動を実施している。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

※特に優先順位の高いもののみ記入

・現場の拡大図
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



※ 停止線を要望する。(交通量の確認をする必要がある。)

通学路点検 箇所別資料②

(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	2	路線名	町道 北及・田代2号線
住所	笠松町北及 1789~1798 番地 (トーギ黒板沿いの道路)		
通学路の状況 危険の内容	道路の路肩を通過して登校しているが道幅が狭いため、自動車が並走やすれ違う際に危険である。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学路・学童多し」の看板の設置 ※「カラー舗装」は路側帯の設置がセットであるが道幅が狭い(道幅4m)しかないため、カラー舗装ができない。 ※ 帯のコンクリートブロック設置を希望していたが、道幅が狭いため設置は難しい。 		
事業主体	町、警察 (公安委員会)		
対策年度	H28 以降		
通学児童数 (人)	171 人		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアが登下校時に配置されているが、見守りの中心は交差点指導である。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

通学路点検 箇所別資料③

(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	3	路線名	町道 北及・田代4号線
住所	笠松町長池33番地の6付近 (リバーサイド笠松園南の横断歩道)		
通学路の状況 危険の内容	東西にのびる道路の交通量が登下校時に多く、車も減速しないことが多いため、横断歩道はあるが通行が危険である。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学路・学童多し」の看板の設置を進める。 ・ボランティアの見守りと同時に児童の通学マナーの向上指導をする。 ※ 押しボタン式の信号機の設置を希望していた。東側への移設なら可能となるが、結構な距離があるため通学路に不向きとなる。		
事業主体	町、警察 (公安委員会)、学校		
対策年度			
通学児童数 (人)	151人		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアが登校時に配置されているが、下校時及び長期休業中の登下校の見守りはないため、児童だけで横断している。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

※特に優先順位の高いもののみ記入

・現場の拡大図
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



- ※ 以下の3点を学校と町で協議をして対応していく。
1. 西側県道沿いの信号のある横断歩道への通学路の変更ができるのであれば通学路変更で対応する。
 2. 通学路を東側に変更してもよいのであれば、歩行者専用信号の設置も可能である。
 3. 現状の通学路の場合は、看板の設置で対応する。

通学路点検 箇所別資料④

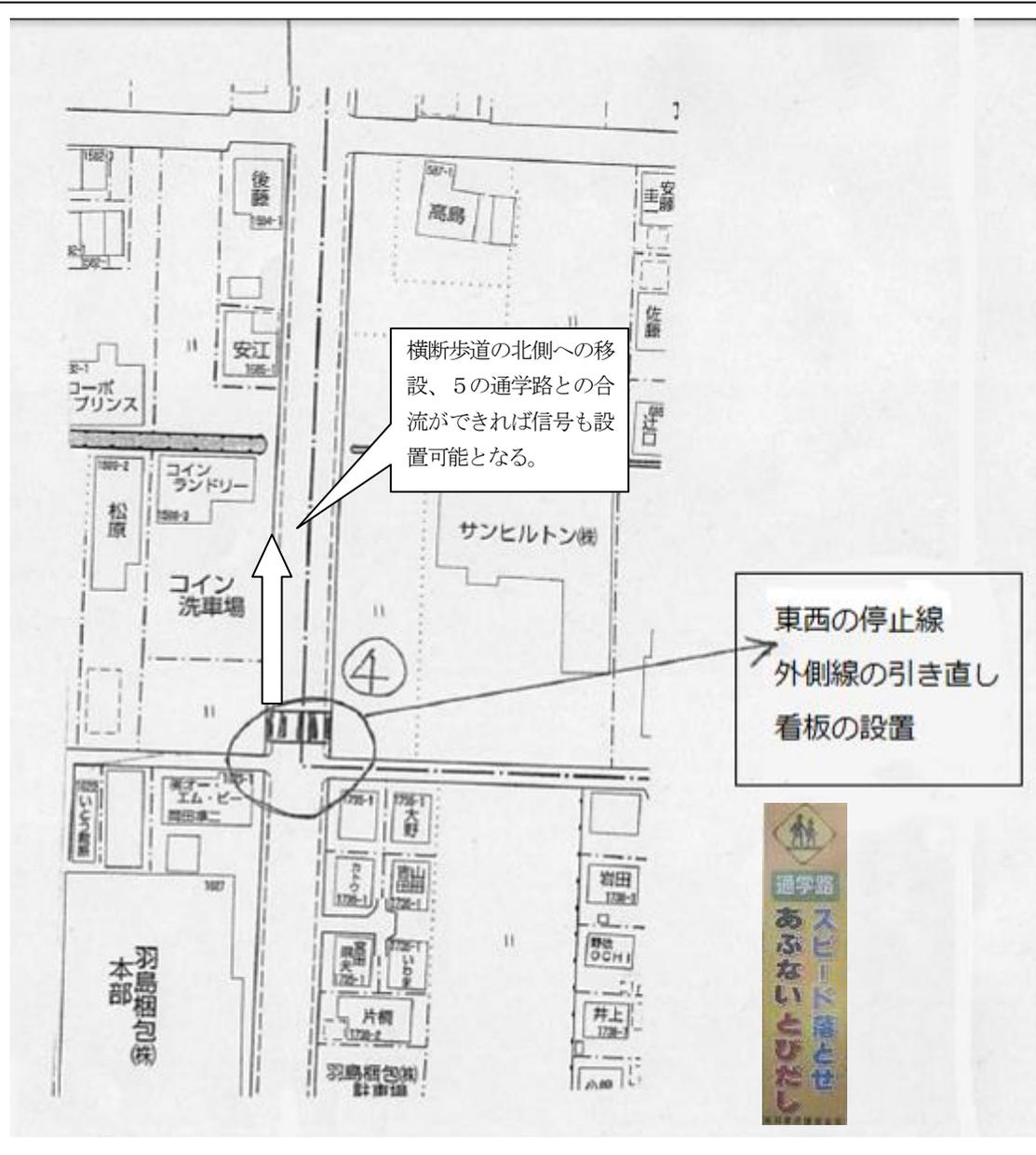
(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	4	路線名	町道 北及・田代1号線
住所	笠松町北及 1735 番地近くの交差点 (コイン洗車場南の横断歩道)		
通学路の状況 危険の内容	交通量の多い南北にのびる道路を登下校時に横断する。 自動車が減速しないので危険である。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学路・学童多し」の看板の設置 ※ 押しボタン式の信号機を希望していたが設置は難しい。ただし、北側に20m程横断歩道が移設し、対策箇所5と通学路が一緒になれば実現性が増す。 ※ 7/27 東西の道路からの自動車の合流については、停止線の設置を町より公安委員会に申請している。 ※ 今年度中に白線及びび外側線を引き直す。(町) 		
事業主体	町、警察 (公安委員会)		
対策年度	H28 以降		
通学児童数 (人)	78 人		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアが登校時に配置されているが、下校時や長期休業中の登下校については児童だけで通行している。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

※特に優先順位の高いもののみ記入

・現場の拡大図

(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



※ 看板は設置済みであるので、東西の停止線を今年度中に設置する。

※ 通学路の変更については町と学校で相談をする。

通学路点検 箇所別資料⑤

(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	5	路線名	町道 北及・田代1号線
住所	笠松町北及170番地の1 近くの交差点 (KT シンシア南の横断歩道)		
通学路の状況 危険の内容	交通量の多い南北にのび、やや曲がっており見通しもよくない道路を登下校時に横断する。 自動車が減速しないので危険である。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学路・学童多し」の看板の設置 ※ 押しボタン式の信号機を希望していたが設置は難しい。信号機の場合は対策箇所4と合流するため、北側まで通学路を変更する必要がある。 		
事業主体	町、警察 (公安委員会)		
対策年度	H28 以降		
通学児童数 (人)	59 人		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体 等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアが登校時に配置されているが、下校時や長期休業中の登下校については児童だけで通行している。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

※特に優先順位の高いもののみ記入

・現場の拡大図
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



- ※ 看板設置により、ドライバーに注意喚起を図る。
- ※ 通学路の変更については、町と学校で相談する。

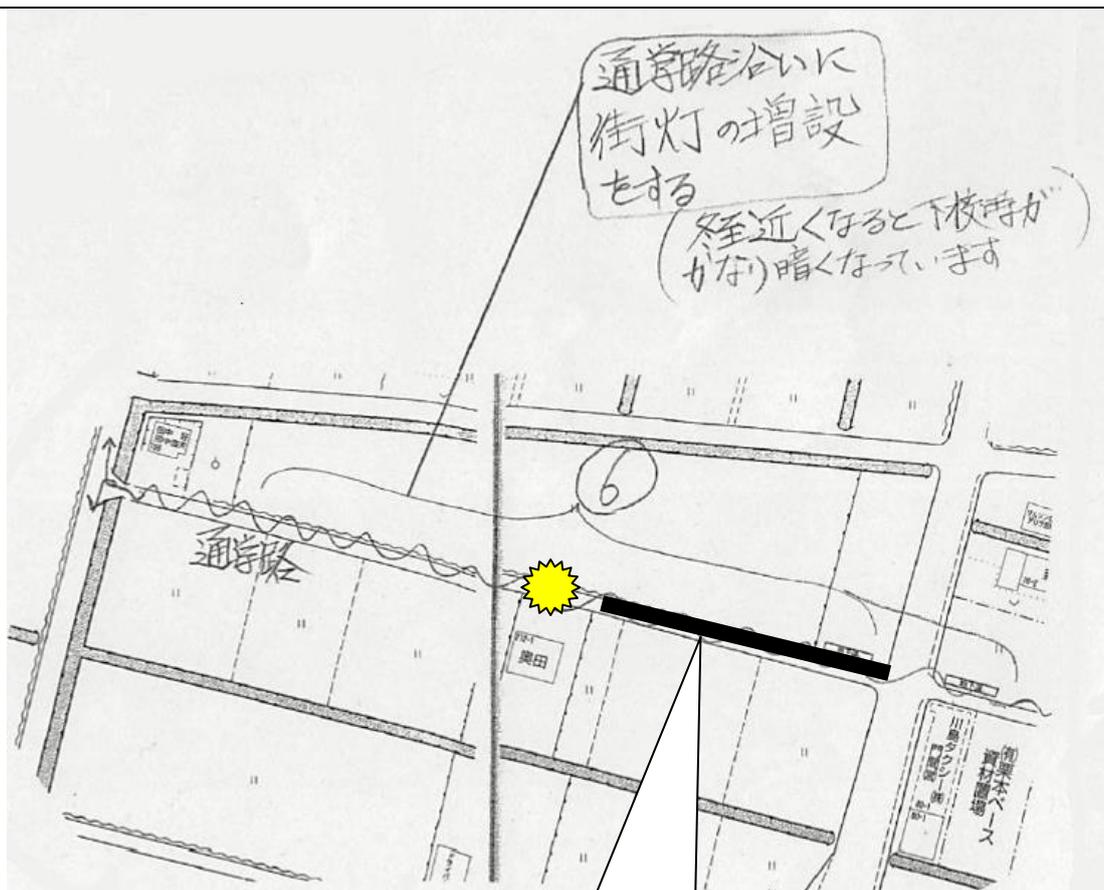
通学路点検 箇所別資料⑥

(笠 松) 町 立 (松 枝) 小 学 校

番号 (対策一覧表左の番号)	6	路線名	町道 北及21号線
住所	笠松町門間 80 番地～196 番地 (地下道西の道路)		
通学路の状況 危険の内容	冬場の夏至近くになると、下校時に日が沈んでしまい道路の周りの暗い。 人家も少なく (1軒のみ)、安全上心配である。		
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・LED電気容量のUP ※「街灯」の増設については、町の条例で直線道路上に2軒以上建ち並ぶことが街灯の設置条件である。 ※すでに1カ所があるが、街灯東側は電気が通っていない。 		
事業主体	町		
対策年度	H28		
通学児童数 (人)	19 人		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	笠松町立松枝小学校 笠松町立松枝小学校 PTA 近隣住民		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	地域のボランティアや保護者が登校時に見守り指導をしているが、下校時については児童だけで通行している。		
・現場の近郊の写真	東	西	
			
	南	北	
			

※特に優先順位の高いもののみ記入

・現場の拡大図
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



この区間は、電気が通っていない。
そのため、ポールを設置と合わせて
電気を引くことも必要になる。

※ 電気の容量を上げて明るくする。